

「環境ホルモン戦略計画 SPEED '98」改訂ワーキンググループについて

「環境ホルモン戦略計画 SPEED '98」改訂ワーキンググループ議事要旨

日 時： 平成15年10月28日(火) 14:00～16:00
場 所： 中央合同庁舎5号館22階 環境省第1会議室
出席委員： 青山博昭 有田芳子 井口泰泉 井上 達 鈴木継美(座長)
長濱嘉孝 花岡知之 鈴木規之(代理) 中園 哲 山口孝明

議題

- (1) 内分泌攪乱化学物質に関するこれまでの取組について
 - (2) これからの検討の進め方
 - (3) その他
- なお、会議は公開で行われた。

議事要旨

- (1) 内分泌攪乱化学物質に関するこれまでの取組について

環境省の取組

環境ホルモン戦略計画 SPEED '98、成果のまとめ(環境実態調査、曝露経路調査、健康影響サーベイランス、作用メカニズムの解明等に関する試験研究、内分泌攪乱作用を有すると疑われる化学物質の試験体系の概況及び試験結果等)、ミレニアム・プロジェクト「ダイオキシン類・環境ホルモンの適正管理、無害化の促進」平成14年度評価報告等を事務局から説明し、議論が行われた。

国内外の取組の現状

内分泌攪乱化学物質問題の各省庁フロー図等を用い、各省庁の取り組みを事務局及び関係省庁から説明し、議論が行われた。

また国外の取り組み(WHO Global Assessment of the State-of-the Science of Endocrine Disruptors 等)を事務局から説明し、議論が行われた。

- (2) これからの検討の進め方

これからの検討の進め方について事務局から説明し、議論が行われた。

- (3) その他

「第6回内分泌攪乱化学物質問題に関する国際シンポジウム」の開催について事務局より報告した。

「環境ホルモン戦略計画 SPEED ' 98」改訂ワーキンググループ設置要綱

平成15年10月9日

1. 目的

環境省は、平成10年5月に策定され、平成12年11月に改訂された「環境ホルモン戦略計画 SPEED ' 98」に基づき、本問題に対する様々な取組を進めている。今回、これまでに得られた国内外の科学的知見等を踏まえて、SPEED ' 98 に新たな科学的知見や今後の環境省としての対応方針等について追加・修正することとしており、その際幅広い観点からの指導・助言を求めため、「環境ホルモン戦略計画 SPEED ' 98」改訂のためのワーキンググループを設置する。

1. 検討内容

環境省が実施する「環境ホルモン戦略計画 SPEED ' 98」の改訂作業に関して、以下の事項について指導・助言を求め。

- これまでの取組のまとめと評価
- 現状と今後の取組の目標・課題
- 取組の進め方
- その他必要な事項

2. 組織等

- (1) 環境省総合環境政策局環境保健部長が依頼する学識経験者・地方公共団体・民間団体の担当者等をもって構成する。
- (2) ワーキンググループに座長を置き、内分泌攪乱化学物質問題検討会の座長がこれをつとめる。座長はワーキンググループの会務を総理する。
- (3) ワーキンググループにおける座長の職務を代行するため、座長代行を置き、座長の指名によりこれを定める。
- (4) 座長が必要と認める場合には、学識経験者等を説明員又は、講師として出席させることができる。
- (5) ワーキンググループの事務は環境省総合環境政策局環境保健部環境安全課において処理する。

委員名簿

- | | |
|------|----------------------------|
| 青山博昭 | (財)残留農薬研究所毒性第一部生殖毒性研究室室長 |
| 有田芳子 | 全国消費者団体連絡会事務局 |
| 井口泰泉 | 岡崎国立共同研究機構統合バイオサイエンスセンター教授 |
| 井上 達 | 国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験研究センター長 |
| 鈴木継美 | 東京大学名誉教授 |
| 長濱嘉孝 | 岡崎国立共同研究機構基礎生物学研究所生殖研究部門教授 |
| 花岡知之 | 国立がんセンター研究所支所臨床疫学研究部疫学研究室長 |
| 森田昌敏 | (独)国立環境研究所統括研究官 |
| 中園 哲 | 北九州市環境科学研究所所長 |
| 山口孝明 | 住友化学工業株式会社レスポンシブルケア室 |